

HU-eco

環境報告書をご存じですか？

環境報告書は、事業者が環境負荷及び配慮等の取組状況について公表するものです。本学では、環境配慮促進法等に基づき、2006年度から毎年作成しています。

詳しくは <http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/intro/kankyo/index.html>

本紙「HU-eco」は、環境報告書の一部を紹介しつつ、大学としての環境配慮活動へのご理解とご協力を、構成員のみなさまにお願いするための広報誌です。

環境報告書2014版の内容（2013年度の実績報告）

学長ステートメント：本学における環境配慮行動についての考え方

広島大学基本理念・環境基本理念・行動方針

大学概要

環境管理体制

2013年度の目標と実績

中期目標（2009～2013年度）の総括

本学における環境教育（毎年、その一部を紹介しています）

教養教育 / 生物生産学部・生物圏科学研究科 / 文学部・文学研究科

環境研究（毎年、その一部を紹介しています）

社会貢献・国際貢献・学生活動（毎年、その一部を紹介しています）

キャンパスの自然環境

環境負荷削減の取組みと実績

環境リスク低減の取組みと実績

環境に関する規制等の順守状況

環境報告ガイドライン（2012）との対照表

第三者コメント・環境活動評価委員会コメント

キャンパスマップ、編集後記



2014年度の環境目標

環境教育・研究の推進

* 環境・安全教育の全学実施

* 教養教育，専門教育等を通じた環境意識の醸成

* 環境研究の連携強化と促進

社会貢献の推進

* 地域社会・市民と連携した環境保全活動の推進

* 地域・国際社会の環境問題解決に向けた取組みの推進

* 学校教育から生涯学習までの地域環境教育への貢献

自然環境の保全

* キャンパス内の生物相の把握

* キャンパス内の生物多様性を守る生態系管理体制の構築

* キャンパスの自然環境の管理・保全の実施

資源の有効利用の推進

* エネルギー使用原単位の削減

2013年度比1%削減

2015年度までに2013年度比2%削減

* 水使用量の削減と資源化の促進

水使用量の削減（2012年度実績より減）

水再利用の促進

* 廃棄物の削減と資源化の推進

資源化促進による可燃ごみ排出量の削減

（2012年度実績より減）

* コピー用紙購入量の削減

2012年度実績より減

ここがポイント!!

2013年度に
未達成の課題



「資源の有効利用の推進」区分についての 中期目標（2009～2013年度）の総括

詳しくは、環境報告書の p.7, 24～29参照

5年間の実績評価

広島大学では、環境目標の「資源の有効利用の推進」区分について、2009年度から2013年度までの5年間の目標を定めてきました。2013年度はその最終年度に当たるため、環境活動評価委員会が5年間の活動実績を評価しました。

【総評】

「エネルギー使用原単位の削減」における中期目標は、前年度比1%削減、5年間で2008年度比5%削減。実績として、前年度比1%削減目標を達成できた年度と達成できない年度があり、2013年度は2008年度比で3.8%の削減にとどまっている。

「水使用量の削減と資源化の促進」における中期目標は、2008年度実績より削減。実績として、2010年度（1.2%増）を除き、そのほかの年度では全て目標を達成できている。引き続き、目標値達成に向けた取組みが必要。

「廃棄物の削減と資源化の推進」における中期目標は、5年間で2008年度比20%削減。実績として、2013年度は2008年度比1.0%の増加となり、目標値にはほど遠い結果となった。数値目標の設定に当たっては、現状分析を踏まえて十分検討の上、実効性のある目標設定が必要。

「コピー用紙購入量の削減と資源化の促進」については、年度により削減目標が定められてきた。実績として、2012年度は前年度に比べ3.7%削減し2013年度は前年度に比べ2.3%増加しているが、これは消費税対策のための前倒し購入によるもので、段階的な削減ができている。今後は、中期目標としての目標設定の検討が必要。

【各部局等】

部局等別の環境配慮活動実績については、中期目標で定めた環境目標に沿った環境配慮活動がなされているにもかかわらず、目標値を達成できていない部局等が多くあった。今後は、環境配慮活動の効果が十分でなかったことの分析と対策並びに効果的な活動の策定を検討し、更なる環境配慮活動の取組みが必要。

主要3キャンパスの5年間の推移

